



第16回
2019年度

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール

入選作品集





小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

CONTENTS

- 審査の様子 2p
- 審査基準および応募作品の傾向 3p
- 審査総評・表彰式 4～5p
- 入選作品紹介 6～27p
- 応募状況 28～31p
- 過去の入選一覧 32～33p

● 文部科学大臣賞

愛媛県宇和島市立三浦小学校「防災キッズ TOYOURA 4」(4、5年生/愛媛県)

● 防災担当大臣賞

かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会「内高松子ども会」(6年生/石川県)

● 消防庁長官賞

愛知県豊田市立足助小学校「足助の安全・安心を守るたんけん隊」(4年生/愛知県)

● まちのぼうさいキッズ賞

高知県本山町立吉野小学校「少年少女防災探検隊」(5、6年生/高知県)

● 気象庁長官賞

香川県三豊市仁尾町児童館「におっこ清掃探検隊」(1～6年生/香川県)

● キッズリスクアドバイザー賞

岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム
「宇野小学校 原尾島チーム」(3、5年生、中学1年生/岡山県)

● 未来へのまちづくり賞

神奈川県横浜市立汐見台小学校「汐見台パトロール隊」(6年生/神奈川県)

● わがまち再発見賞

北川ブラザーズ「北川ブラザーズ」(5年生/三重県)

● ぼうさい探検隊賞

東京都足立区立西新井小学校「西新井小学校 水色チーム」(5年生/東京都)

● 審査員特別賞

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ「川沿未来見守り隊」(1～6年生、中学1、2年生/北海道)

西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ「こすもす探検隊」(4、5年生/福島県)

富士見キッズ「Chipika」(3、4年生/東京都)

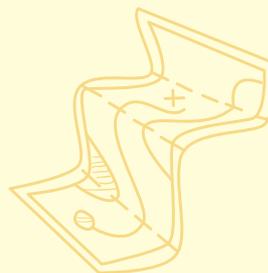
長野県松本市 島内子ども会育成会「チームしまうちっ子」(3～6年生/長野県)

徳島県阿南市立津乃峰小学校「つのみね小3年生」(3年生/徳島県)

『街角の、危険なヒヤリ!ハット!』探検隊「『街角の、危険なヒヤリ!ハット!』探検隊」(4年生/熊本県)

豊見城市なないろ児童クラブ2「ウォーターZグループ」(3、4年生/沖縄県)

豊崎学童クラブ「とよさきこうえんまもりたい」(1、2年生/沖縄県)



ごあいさつ



皆さま、こんにちは。日本損害保険協会会長の金杉と申します。開会にあたり、主催者を代表してご挨拶申し上げます。

はじめに、今回のコンクールに入賞された皆さん、誠におめでとうございます。皆さんに応募いただいた「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は、今年で16回目を迎えました。今回は、全国の小学校など、団体数としては、これまでで最も多い594団体、のべ16,000人以上の小学生にご参加いただき、約2,500作品ものマップが集まりました。私もマップを拝見させていただきましたが、皆さんが、元気よくまちを歩き気づいたこと、そして、地域の方々から教えていただいたことなどを、丁寧に調べ、安全な場所や危ない場所をマップにまとめた様子が、どの作品からも手に取るようにわかりました。

今回は、防犯や交通安全をテーマとした作品や、このところ、多く発生している台風・大雨、将来発生するかもしれない地震などの自然災害をテーマに、避難経路、ハザードマップ、過去に起きた災害の例をわかりやすくまとめた作品が多くありました。作品の中には、消防、警察の方たちや、地域にお住まいの方などにインタビューを行い、自治体などに対して、まちの危険な場所について、改善要望などを書きこんだ作品もありました。皆さんには、今回の受賞を、ぜひ誇りにしていただきたいと思います。本当におめでとうございます。

さて、私から皆さんに一つお願いがあります。それは、今回のマップ作りで気づいたこと、学んだことを、ぜひご家族やお友達、ご近所の方にも伝えてあげてもらいたいということです。皆さんが、周りの方々に伝えることで、地域に住んでいる方たちが防災、防犯、交通安全をより意識し、住みやすく暮らしやすいまちになっていくと思います。よろしくお願いいたします。

また、本日は、指導にあられた先生方や団体の皆さまにもご出席いただいております。皆さまにおかれましては、「ぼうさい探検隊」の実施にあたり、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。「ぼうさい探検隊」は、地域の防災力や、コミュニティの向上につながる実践的な安全教育プログラムとして、回を重ねるごとに各方面から高い評価をいただいております。これほど多くの小学生が参加する全国規模のコンクールは、おそらく他に例がないかと思えます。これもひとえに、ご後援いただいている関係各府省庁や、子どもたちの指導にあられた小学校、もしくは各団体の指導者の皆さま方の、熱意とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、この「ぼうさい探検隊」の取り組みに多大なるご理解とご協力を賜りました関係者の皆さまと、本コンクールにご参加いただいたすべての皆さま、そして本日お越しいただいた皆さまに、あらためて御礼を申し上げますとともに、この活動が今後も、安心で安全な地域社会づくりに貢献していくことを祈念いたしまして、私からの開会のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

一般社団法人 日本損害保険協会

会長 かなすぎ やすぞう 金杉 恭三

(2020年1月25日開催「第16回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール表彰式」 主催者代表挨拶より)



「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。子どもたちの「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全“共有”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主催 日本損害保険協会／朝日新聞社／日本災害救援ボランティアネットワーク

後援 内閣府／文部科学省／警察庁／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／全国都道府県教育委員会連合会／沖縄県／アジア防災センター／児童健全育成推進財団／日本損害保険代理業協会／ボーイスカウト日本連盟／ガールスカウト日本連盟／NHK／福岡県

審査の様子

2019年度のコンクールには、全国47都道府県の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、594団体から16,492人の児童が参加し、2,541作品が寄せられました。第1回から第16回までの参加人数は、累計20万人を超えました。

審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれ素晴らしい視点があって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々との繋がりがひしひしと伝わってきて、選出がとても難しい」などのご感想が寄せられました。

審査日程

事務局審査：2019年9月27日(金)～11月15日(金)

第一次審査：2019年11月20日(水)

本審査：2019年12月9日(月)

結果発表：2019年12月18日(水)

本審査の様子



本審査員

むろさき よしてる
室崎 益輝氏 神戸大学名誉教授・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長

もりもと しんや
森本 晋也氏 文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官

なかお あきふみ
中尾 晃史氏 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)

ふじの きだいすけ
藤ノ木大祐氏 総務省消防庁 国民保護・防災部防災課 地域防災室 理事官

うえむら まさき
植村 正樹氏 文部科学省 国際統括官付 国際統括官補佐

ちば ごうき
千葉 剛輝氏 気象庁総務部 情報利用推進課長

こいで さとし
小出 鋭氏 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 特命部長

たかつき ただなお
高槻 忠尚氏 株式会社 朝日新聞社 CSR担当補佐兼 CSR推進部長

てらもと ひろのぶ
寺本 弘伸氏 認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

いとう ゆうじ
伊東 祐次氏 一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

審査基準および応募作品の傾向

審査基準



地域性・テーマ性(地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴)

地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫)

色や写真、イラストを効果的に使用しているか
多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか

提案性(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言)

子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか



◆地域性・テーマ性

- ・2019年度(第16回)は、「防災(40%)」「防犯(27%)」「交通安全(33%)」、2018年度(第15回)は、「防災(39%)」「防犯(28%)」「交通安全(33%)」であり、「防災」がやや多い傾向が続いている。

【防災】

- ・自然災害をテーマに、地域災害の特性や避難場所などの情報について調べ、わかりやすく表や箇条書きでまとめ、さらにまち歩きに基づき避難経路を考え、マップに線と言葉で示した作品が多数あった。また、避難経路のチェックポイントを丁寧に示し、経路順が分かりやすいように視覚的に表現している作品もあった。
- ・「台風のときは」や「地震のときは」など、具体的な災害を想定した際にそれぞれの避難の仕方や対策について書かれている作品が見受けられた。
- ・洪水や津波に関するマップも多くあり、海拔について調査したり、警戒レベルについてまとめている作品もあった。また、ハザードマップを作成、利用している作品もあった。
- ・人口割合を調べ、地域にとって防災時に必要な情報を考え、とくに誰のためのマップなのか、ターゲットを絞って提案している作品があった。

【防犯】

- ・学校周辺や通学路、公園など、子どもたちの生活に密着したとこ

ろを、子どもたちの視点で深く調べた作品が目立った。

- ・「子ども110番」の家・店、死角エリアをマップにまとめた作品が多くあった。また、例年同様、「い・か・の・お・す・し」を紹介するなど、不審者への注意を促す作品も多くあった。

- ・より安全なまちにするためにはどうしたらよいかという視点で、地域の人々にアンケートを実施し、回答を表やグラフにまとめた作品も多くあった。また、インタビューをする中で、地域の人々と一緒に安全なまちづくりについて考えられている様子も見受けられた。

【交通安全】

- ・「見守りボランティア・スクールガード」や「交通安全パレード」など、地域で取り組まれている活動について、紹介している作品もあった。
- ・地域の人々へのインタビューを通じて、普段の自分たちの行動を振り返り、交通ルールやマナーを守ることの大切さを学んだことが見受けられる作品もあった。
- ・「道幅が細くて危険なので、広くしてほしい」という意見が多く見受けられた。
- ・毎日使っている通学路も、改めて意識して歩くことで発見したことや気づいたことがあり、まち歩き中のメモを基にまとめている作品も多かった。

◆ビジュアル性

- ・全体的に、「安全な所」「危険な所」を色で区別し、「危険な所」は×印や！マーク(感嘆符)などの注意喚起のマークで表示したり、防災・防犯・交通安全のジャンル別に色分けしたりすることで「見る人にわかりやすく伝えよう」という姿勢が感じられる作品が多数あった。また、防災設備等をイラストで分かりやすく示している作品も多かった。

- ・写真のどこがポイントか、目標物を指差した状態で撮影されていたり、写真の切り方を工夫したりして、必要な情報を精査している作品が目立った。

- ・人口や防災・防犯に役立つものの数などを、円グラフや棒グラフ、折れ線グラフなどの図を利用し、視覚的に分かりやすくしようとして工夫している作品が多数あった。

◆提案性

- ・全体的に、「ここは安全だよ」「危ないよ」「〇〇に注意してね」と、自分たちの気づきを表現し、マップを見ている人に呼びかけた作品が多くあった。
- ・クイズ形式にするなどして、マップを見る人の興味を引くような

工夫をしている作品が多く見受けられた。

- ・市区町村長や自治体等に対して具体的に「提言」「改善点」などを書いた作品も多く、改善要望を実際に市区町村や自治体へ提案し、提案に対する回答までを報告している作品もあった。

◆教育効果性

- ・自治体や消防署、地域の方々などにインタビューを実施した団体が多くあった。インタビューによって新たな発見や意識の変化が生まれたという作品もあった。
- ・発見やインタビュー先の数が多い、または地域の過去の状況を調査するなど、丁寧かつ熱心に取り組んだことがうかがえる作品が

多かった。充実した情報が掲載されており、このまま地域の安全マップとして活用できるような作品が多くあった。

- ・学年を問わず混成チームで活動した団体は全体の半数以上であり、幼稚園生が参加したケース、中学生・高校生がリーダー役として参加したケースも多く見られた。

審査総評



審査員長

むろ さき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授
兵庫県立大学
大学院減災復興政策研究科長

入選された17作品の皆さまには、心から入賞おめでとうという言葉をおかけしたいと思います。それから参加していただいた2,541作品の全ての皆さまに、心からお礼を申し上げたいと思います。私の希望の富士山まで、もう一歩で近づくとありますが、作品数がどんどん増えて高くなっていることをとてもうれしく思っています。

今日は二つ大きなお話をしたいと思います。この『ぼうさい探検隊マップコンクール』は、温かい心でみんなで取り組むということに特徴があると思います。そういう温かい心という話と、みんなで行き組むという話とあります。僕は温かい心というのは三つの心があると思っています。小学生の皆さんには少し難しい言葉かもしれませんが、一つ目は意識とあって、心の持ちようのことです。二つ目は知識とあって、いろいろなことを勉強して知識を持つことです。三つ目は認識とあって、少しテーマを持って深く理解をすることです。この三つの心の作用がないと、本当にみんなの命を守ろうと思ってもできないと思います。

温かい心の意識ということであると、阿南市の津乃峰小学校の皆さんは、地域の人々に危険を知らせたいという思いがしっかり作品に表れていて、地域の人々のことを思いやったことが伝わりました。今までは地域の人を思いやる作品が多かったのですが、今年は家族を思いやるということで、本山町吉野小学校の避難スイッチという、いつ逃げるかを家族みんなで相談するという家族への思いやりがすごく出ていた作品があります。また、住んでいる自分たちだけではなく、観光に来ている人たちの命を守ろうという気持ちが積極的に出た、三豊市の仁尾町児童館の皆さんの作品もとても素晴らしいと思います。加えて、車も注意してくださいという、ドライバーの皆さんのことも考えるような提案が、松本市島内子ども会の皆さんから出されているということで、いろいろな人たちに対する思いやりが非常に温かい形で出てきたことが、とても素晴らしいと思います。

二つ目が知識。これはぼうさい探検隊の原点です。歴史を調べたり、地域の文化を調べたり、自然を調べたり、過去の災害を調べたり、いろいろなものを調べて豊かな知識を持つのがとても重要だと思っています。ユニークだと思うのは愛知県足助小学校で、消火栓や防火水槽など、まちの中にある消防設備に着目をして、その実態を非常に細かく調べています。そういうところに焦点を当てたのはとても素晴らしいです。もう一つ素晴らしいと思ったのは、コミュニティーというそこに住んでいる人のことをすごく考えていて、これは、かほく市内高松子ども会の皆さんの取り組みがとても素晴らしくて、高齢化の実態を非常に丹念に統計で調べた上で、そこに住んでいる老人会の人たちや防災士会の人たちなど、いろいろな人々を訪ねて行って、まさにコミュニティー全体を理解して考えています。これもとても素晴らしい取り組みです。

そこに加えて今回の特徴は、災害の被害を受けた所の子どもたちが、その被害を客観的に見ていることです。この被害の分析で言うと、岡山宇野小学校の皆さんの作品は、実際の写真を持って、どのように広がって、どういうところが問題かということ非常に丹念に分析しています。まさに災害そのものを知るという取り組みはとても素晴らしい。同じように災害を調べた福島このすもすクラブの皆さんも、まさに過去の水害などを経験しながら分析をしていくという意味では、災害のあった場所の皆さんから作品が出てくるというのはとても素晴らしいことだと思っています。

三つ目は認識。ここは今回も非常にユニークなところで、テーマを決めて深く掘り下げていくという取り組みがあります。一つは宇和島の三浦小学校の皆さんで、僕が感動したのは、お墓を避難所にするという提案です。実際に行政が決めた避難所ではいろいろ問

題があって、もっと身近な、こういう所にこんな素晴らしい避難所があるということ、自分たちで調べて提案をしています。まさに今、避難所が問題なのです。今までは避難ルートや避難時間を取り扱っていましたが、今度は避難した先で、本当に快適な生活ができるかということに目を向けたのは、とても評価ができると思います。避難に関して言うと、これは最近の災害の傾向ですが、大雨が降ったときの避難の問題という形で捉えたのが、熊本のヒヤリ！ハット！探検隊という皆さんの作品です。

さらに少し角度が違いますが、今までは地震で家が壊れたり道路が壊れたりするところを見ていましたが、火災が起きたらどうなるか。これは足立区の西新井小学校の作品で、火災で火に包まれるので、それに対してしっかり提案をすることはとても重要だと思っています。まさに正しく危険を認識するという取り組みが進み、意識、知識、認識についての非常に素晴らしい提案がありました。

次は、みんなで取り組む。これは五段階活用で、五段階で取り組みます。最初は、みんなで歩いて気づく。ぼうさい探検隊でぐるぐる歩いて、いろいろな気づきがある。でも本当は気づきただけではいけないのです。僕がとてもいいと思ったのは沖縄の豊崎学童クラブで、1年生と2年生の作品ですが、子どもの感覚はすごいと思いました。ここは危険だという交通事故の危険性を体感した感性は素晴らしいです。まさに気づくということが原点です。少し高学年になると、気づくだけではなくて、しっかり調べて考えようとなります。二段階目が調べるで、三段階目が考えるのですが、これはほとんど一体化しています。調べて考える。いろいろな交通量を計ったり、あるいはパトカーが何分までやってくるか、富士見キッズの皆さんはそういう時間まで計算をしています。そのように、調べたり計ったりして考えていくというプロセスが、次の段階ではとても重要です。同じように、北川ブラザーズの皆さんは被害の予測をしていて、予測をするというプロセスを、きちんとしています。また、調べるといって、横浜の汐見台小学校の皆さんの作品は、ちょっとしたカーブや勾配など、地形の微妙なところを調べて、交通事故の危険性を捉えています。これも素晴らしい観察力で、そういう分析をされているのは素晴らしいです。今言った、調べて考える、あるいは考えた上で危険をきちんと提案するということが出来上がっています。

次の四段階目は伝えるということ、これも重要です。これは全ての作品が素晴らしいです。伝えるということ意識して、色使いやいろいろなシンボルマークを使っています。やはり防災マップは作って自己満足せず、きちんと人に伝えるということが重要なので、伝える気持ちが作品に出てこないといけません。色使いもとても重要で、豊見城のなないろ児童クラブの皆さんもそうですが、沖縄の色使いはいつも素晴らしくて、ものすごくきれいな色を使って、非常に分かりやすい地図を作っています。あと、川沿少年消防クラブの皆さんの作品は、いろいろなシンボルマークや色を変えて、地域の人にここが危険だとちゃんと伝えるという表現力が素晴らしいので、まさに伝えるというための作品がとても重要になってきていると思います。五段階目の最後は提案する力です。

みんなで作り上げるステップの五段階ごとにも素晴らしい作品があるし、温かい心の三つの気持ちという面では、温かい作品がとても多かったということで、年々素晴らしく、どんどんレベルアップしています。

最後に、今回は今まで入賞したことのない未経験の団体がたくさん入賞しました。これは素晴らしいことです。初入選の団体がどんどん広がるのが、多分この『ぼうさい探検隊マップコンクール』の究極の目標だと思っています。それに加えて、今回、足助小学校の皆さんが入賞しました。足助小学校の作品は、学校の活動の延長線上に、みんなで力を合わせればできるという、防災マップの一番の原点のような本当に素直な作品です。そういうことも含めて、16年間も挑戦していただいて、本当にどうもありがとうございます。

長くなりましたが、いつもこの講評をすることをとても楽しみにしています。これも役得だと思っています。本当に皆さんおめでとうございました。

表彰式

2020年1月25日(土)、東京都・千代田区神田淡路町の損保会館2階大会議室で、第16回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。



審査員長、各賞のプレゼンター、代表児童、指導者の方々が揃って記念撮影をしました。



賞状を受け取る表情は、どなたも誇らしげです。インタビューでは、皆さん緊張しながらも、堂々と受け答えされていました。



文部科学大臣賞

愛媛県

愛媛県宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ TOYOURA 4」

学年

4、5年生

人数

4人

防災



Voice

喜びの声



[チームの児童のみなさん]

マップ作りを通して、安全に避難するためのルートや避難場所を知っておかなければならないこと、津波による浸水被害の規模を知っておくことの大切さを学びました。このようなすばらしい賞をいただき、とてもうれしいです。

[指導された 松下 哲也 さん]

マップ作りを通して、子どもたちは地域の特性を理解しながら防災意識を高めていきました。地域の方々との交流しながらの制作は、大人の危機意識も高めることになり、意義深いものになりました。ありがとうございました。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

南海トラフ巨大地震発生時の強い揺れ、津波による大きな被害の想定、近年の大雨による浸水被害を踏まえ、災害時の避難経路や避難場所、備蓄に着目したマップとなっている。

ビジュアル性

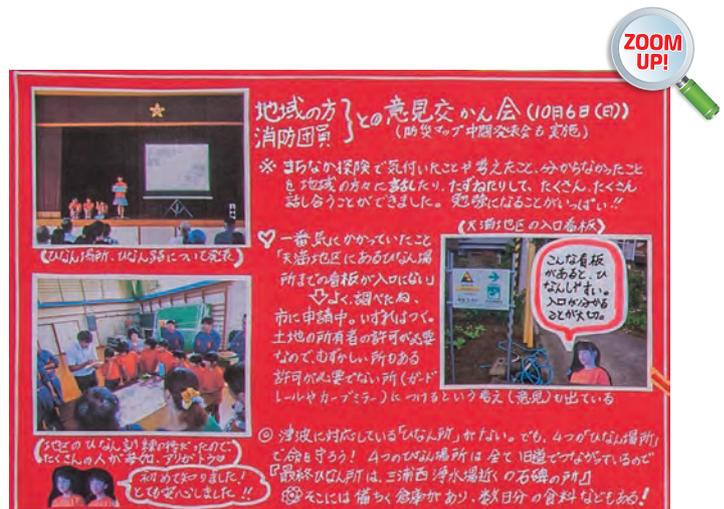
土地の高さを色分けし、毛糸を使って想定されている津波浸水ラインを表示したり、市が指定している津波一時避難場所と避難経路を同じ色にすることにより避難場所がわかりやすい。また、過去の被害状況の写真を効果的に使い、災害時の危険性を視覚的にわかりやすく伝えている。

提案性

4つの避難場所までの避難経路を調べ、高齢者が避難しやすいための手すりの設置や案内看板の必要性を提案している。また、避難所が旧道でつながっていることに着目し、災害の種類により最適な避難所への誘導も伝えている。

教育効果性

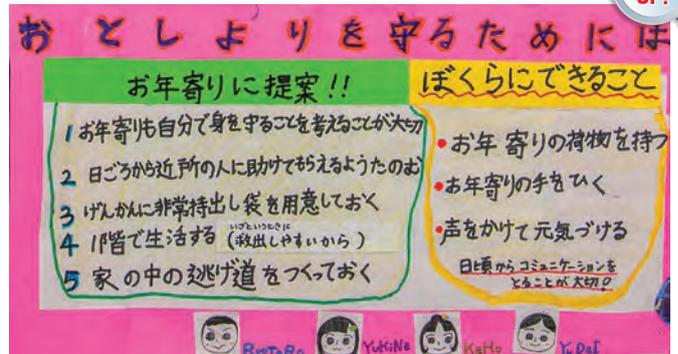
まちなか探検で気づいた点や考えたことを、地域の方や消防団と意見交換し、疑問や問題点を共有している。また、マップ作成の時に命を守るための方策として「何が一番重要か」「何を伝えるべきか」を、子どもたちが主体的に話し合い、防災意識の向上が図られたことが伝わってくる。



評価されたポイント

地域性・テーマ性

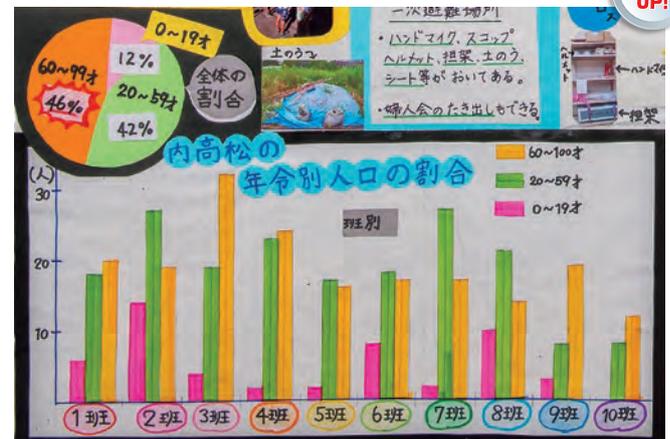
高齢化が進んでいる地域特性に着目し、災害時に区の高齢者をはじめとした住民を守る体制について調べたうえで、自分たちにできることは何かを考え、このまちに住む多くのお年寄りを守りたいという思いが込められたマップになっている。



ZOOM UP!

ビジュアル性

班ごとの年齢別人口割合や全体の年齢別を円グラフにすることで、高齢化率が高い地域であることが一目でわかるような工夫をしている。また、班が色分けされていることにより、どの地区にお年寄りが多いか分かりやすいマップになっている。



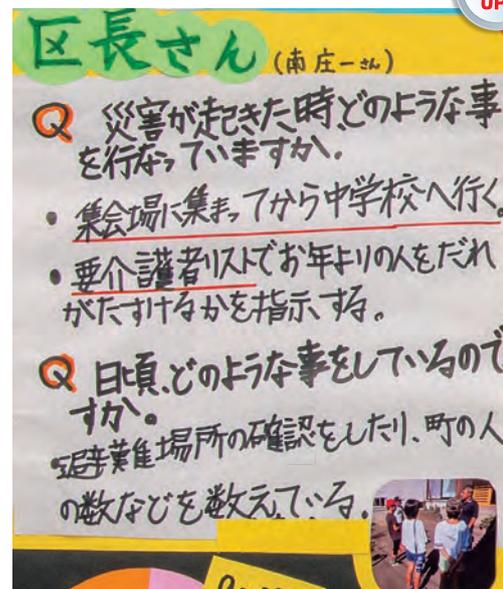
ZOOM UP!

提案性

区長さんや防災士など地域の様々な人にインタビューすることにより、いざというときの体制をきちんと把握したうえで、地域の人たちができること、身を守るためにお年寄り自身に心掛けてもらうこと、さらには子どもたち自身でできることを提案している。

教育効果性

高齢化率が高い地域に住む子どもたちが、地域の人々へのインタビューから、お年寄りを守るためにできることとして、日ごろからのコミュニケーションの大切さを学び、災害時には率先して行動したいという意識の向上がうかがえる。



ZOOM UP!



消防庁長官賞

愛知県

愛知県豊田市立足助小学校

「足助の安全・安心を守るたんけん隊」

学年

4年生

人数

4人

防災

みんなの命を守る防災マップ



Voice

喜びの声



[チームの児童のみなさん]

すばらしい賞をいただき、ありがとうございます。まちを探検して、まちを守るためのものや逆に危険なものがあることが分かりました。まちの人の工夫やがんばっていることも知りました。調べたことを多くの人に知らせたいです。

[指導された石川さおりさん]

いつもの慣れ親しんだまちも防災というレンズを通して見ると、たくさんの新しい発見がありました。自治区長さんやまちの人へのインタビューを通し、子どもたちの防災意識とともにまちへの愛着も高まりました。ありがとうございました。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

山に囲まれ、大きな川があることから、土砂災害や水害の恐れがある地域の特性を懸念し、まち歩きの中で、見直しが必要な防災設備を確認したり、問題点を明確にしたマップ作りができています。



ZOOM UP!

ビジュアル性

大きな地図の中に、危険、安全、心配な箇所を色分けしたシールで、その位置をわかりやすくまとめている。また、シールに番号を入れて、写真と対応することで該当箇所が具体的にどのようなになっているかが伝わりやすいマップになっている。



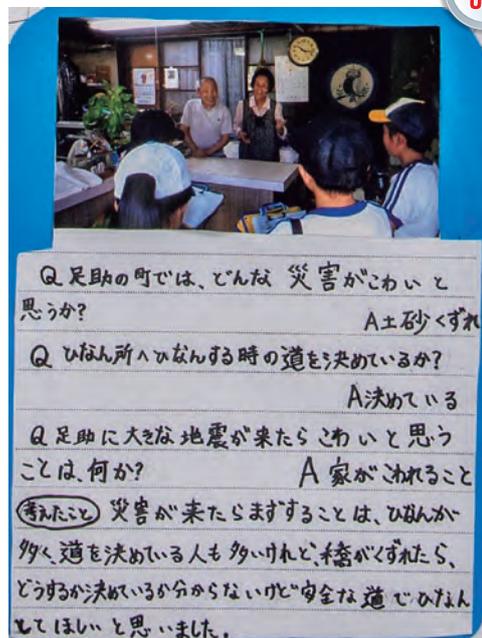
ZOOM UP!

提案性

防災資機材の定期的な見直し、複数の避難経路の確認、インタビューをすることで気づき注意して欲しいことなどをしっかりとりまとめ、テーマの通り、「みんなの命を守る」ために防災マップを作ったということが伝わってくる。

教育効果性

区長をはじめとした地元の様々な方にインタビューをした内容がマップに盛り込まれており、自分ならどう行動するかなどの考察も表現していて、マップづくりを通して子どもたち自身の成長が感じられるマップになっている。



ZOOM UP!



まちのぼうさいキッズ賞

(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

高知県

高知県本山町立吉野小学校 「少年少女防災探検隊」

学年

5、6年生

人数

6人

防災



Voice

喜びの声



【チームの児童のみなさん】

昨年度、受賞した先輩たちに続くことができずごく嬉しいです。吉野地区は、過去に何度も災害にあっている所です。地域の皆さんが、自分たちで災害から身を守るスイッチを持って欲しくてマップを作りました。今後も、マップ作りを続けていきたいです。

【指導された北岡 義彦 さん】

連続で大きな賞をいただきありがとうございます。今年の子も達は、早めの避難のために各家庭で避難スイッチを記入して完成させるマップを作りました。子ども達の発信を今後も続けられたらと思っています。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

水害により避難勧告が発令されたこの地域で、一人ひとりに避難を開始するタイミング「避難スイッチ」を考えてもらうことで、避難意識を高めたいという目的がはっきりしている。



ZOOM UP!

ビジュアル性

情報がしっかり整理されていてシンプルかつ大きくて見やすい地図になっている。色分けされた避難路が非常にわかりやすく、また、オリジナルのマークを定めて地域の情報をまとめており、マップを見た人がどんなことに注意し、どこを通過して避難をすれば安全なのかが、ひと目でわかるよう工夫されている。



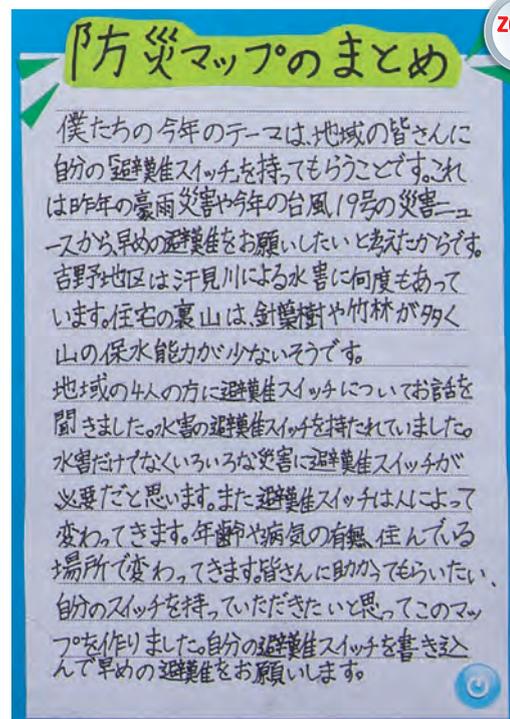
ZOOM UP!

提案性

避難経路をしっかりと確認しながらまち歩きをしたことで、「安全」「注意」「困難」なルートの色分けしてわかりやすく提案している。また、避難スイッチは人それぞれ違うので、自分の避難スイッチを持ってもらうことを提案している。

教育効果性

避難スイッチをテーマとして地域の人にインタビューしたことで、避難するタイミングの大切さを実感し、防災意識を高めたことがうかがえる作品となっている。



ZOOM UP!



気象庁長官賞

香川県

香川県三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」

学年

1～6年生

人数

16人

防災



Voice

喜びの声



[チームの児童のみなさん]

たくさんの地域の人達とつながり、清掃しながら探検し、防災学習をしてたくさん学ぶ事ができました。みんなで協力して作成したマップが地域の安全に少しでも役立てばうれしく思います。ありがとうございました。

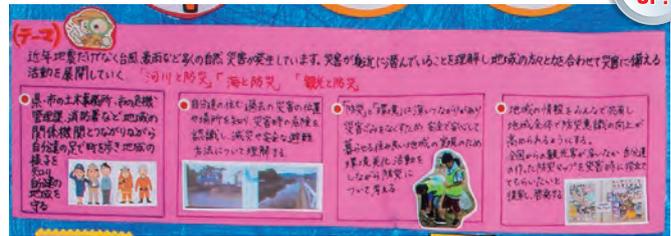
[指導された 三野 宏美 さん]

海、河川、観光と防災をテーマに災害から自分の命を守る重要性において理解を深め活動してきました。入賞する事ができ、地域、行政の方に感謝の気持ちでいっぱいです。更に災害に強い地域づくりに取り組んでくれる事と思います。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

まちの大切な生活のパートナーであり観光資源である海や河川だが、地震や水害などによって起こる災害を過去の経験から学び、「河川と防災」「海と防災」「観光と防災」という3つの観点から地域性に合わせたマップ作りができています。



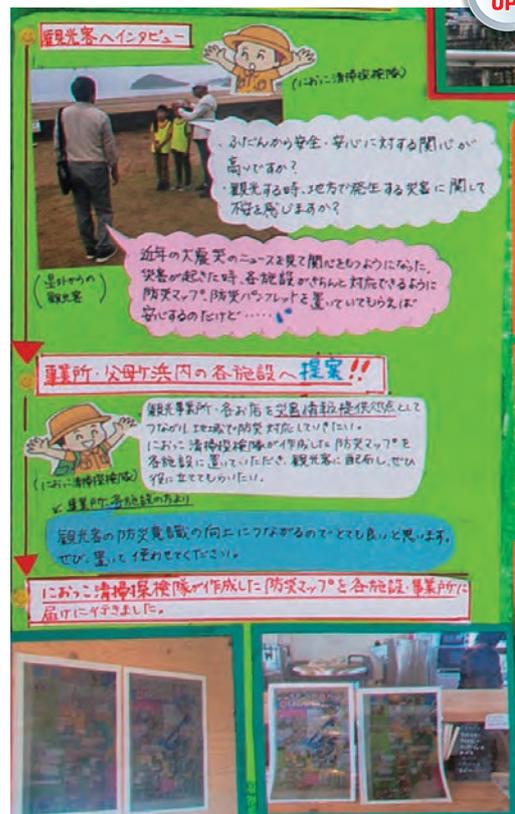
ビジュアル性

「河川と防災」「海と防災」「観光と防災」という3つの観点から避難場所ごとに、対応可能な災害種別・収容人数・標高の情報がまとめられており、浸水区域と土砂災害警戒区域、避難場所、避難経路を色分けしてわかりやすいマップとなっている。



提案性

自分たちが作成した防災マップを各施設・事業所に設置し、土地勘のない観光客の安全を守ること、観光客自身の防災意識の向上に役立ててもらうことを提案している。



教育効果性

様々な人と触れ合うことやマップを使ってまちに住む方、まちを訪れる方に発信することで、責任感やまちへの愛着が育っていることが感じられる。また、まちの豊かさを再認識する一方で、その環境から起こりうる危険についても理解できていることが、マップ作成の過程からもうかがえる。



キッズリスクアドバイザー賞

(日本損害保険代理業協会賞)

岡山県

岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」

学年

3、5年生、中学1年生

人数

3人

防災



Voice

喜びの声



[チームの児童のみなさん]

1年前の豪雨の日のことを思い出しながらマップを作りました。今でも河原の遊具など、あの日のままの所もあります。もう二度とあんなことになってほしくないと思うけど、あった時は早めに避難したいです。

[指導された成広 巧さん]

すばらしい賞をありがとうございます。被害に遭って初めて分かったことがたくさんあったと思います。私達のマップをきっかけにニュースでは報道されない各地の被害についても目を向けていただけたら嬉しく思います。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

2018年の西日本豪雨の際にまち全体が水没した地域であり、その実体験を踏まえたマップになっている。水没した経験を忘れることがないように水害や土砂崩れの危険性、用水路と道路の境目などに着目した水害ハザードマップになっている。

ビジュアル性

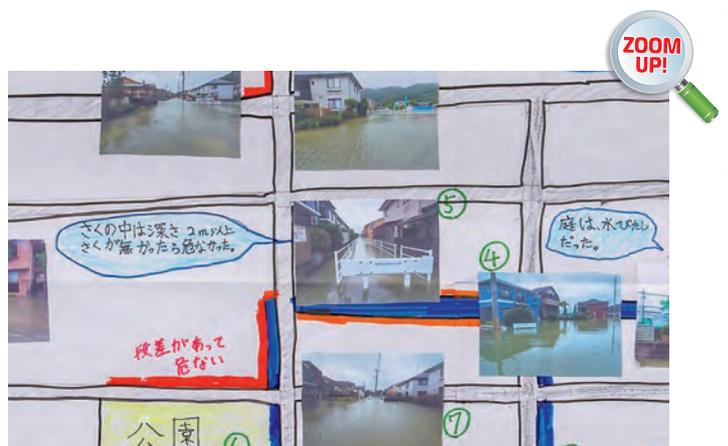
地図上には浸水時、平常時は地図外にまとめて写真を配置し、番号でリンクさせたところが、シンプルながら非常にわかりやすく見やすい。また、浸水前と浸水後と比較することで、浸水時の危険性が視覚的にわかりやすい。

提案性

用水路の周りに柵がない場所が多く、また道と空き地に大きな段差があるなど、浸水時には境目がわからなくなり危険なため、柵の設置を増やしてほしいと提案している。また被災の体験から自分のまちを知っておくことや避難セットの準備の重要性も伝えている。

教育効果性

被災経験からテーマを絞り込み、当時の状況を振り返りながら、またいつ起こるかわからない水害に備え、できる対策を取ること、避難のタイミングを逃さないことなど防災意識を高めたことがうかがえる。





未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

神奈川県

神奈川県横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」

しおみだい

学年	6年生	人数	7人	交通安全
----	-----	----	----	------

汐見台 気をつけようね マップ

Voice 喜びの声



[チームの児童のみなさん]
 今年度は地域、警察、区役所など、沢山の方々に協力してもらったので、入賞を報告できることがうれしいです。小学校最後の年に先生や仲間と一緒にマップを作成してきた時間は最高の宝物です。

[指導された左近 洋介さん]
 評価していただいたこと、大変うれしく思っています。区役所や警察への取材、地域の会合に参加して学んだことをまとめました。今後もまち全体に安全への意識が高まっていくように、子ども達から発信していきます。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

地形の変化を最小限にとどめた起伏を活用した地域のため、坂道やカーブした道が多く、見通しが悪いこと。また、景観に配慮した風致地区のため電柱が地中化されており、街灯の設置数が少ないことから、まち全体が暗い、といった地域の特徴を洗い出し、交通安全というテーマでまとめあげている。

ビジュアル性

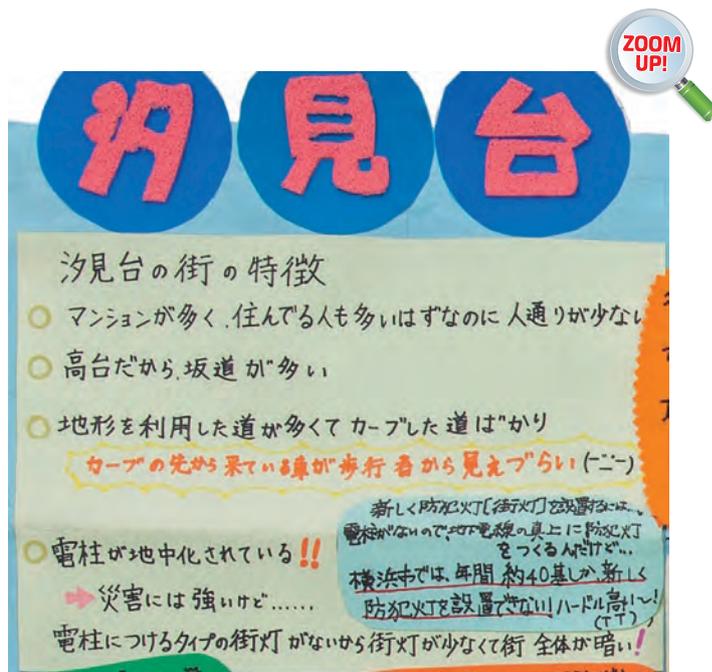
立体地図にすることにより、まちの高低差がわかりやすく表現されている。また、色付けされた道路の色の濃淡で安心度・危険度を表しており、わかりやすい。

提案性

視認性に着目し、車・歩行者双方の視点を取り入れ、街灯が少なく歩道・車道ともに暗い夕暮れ時や夜間には反射材を身につける、明るい服を着るなど自分たちが取り組める安全について提案している。昨年と同じエリアを探検することで気づき、改善された点などもマップに盛り込み、提案に継続性がみられる。

教育効果性

作成したマップが地域で注目され、広報誌・自治会だよりへの掲載や、街づくりタウンミーティングに招かれるなど、子どもたちの提案がまちの安全安心につながっていることを実感したことで、さらに意識が高まったことがうかがえる。





わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

三重県

北川ブラザーズ 「北川ブラザーズ」

学年

5年生

人数

2人

防災

南海トラフ地震の逃げ道マップ

北川ブラザーズ
北川尚 北川英家

本市災害歴の被害から逃げるための上から安心な考え

年代	地震名	マグニチュード	被害	被害の規模
1	1947年 永長地震	6.5	岩田川河口の建物 が倒壊	0.5m
2	1978年 明成地震	6.5	岩田川河口が2連・安 濃川が倒壊	0.5m
3	1979年 宝永地震	6.5	旧江戸橋が壊れ崩壊	2.0m
4	1974年 阪神淡路大震災	7.2	松田川が壊れ崩壊(河川 が倒壊)	2.0m
5	1995年 東南海地震	7.3	旧江戸橋が壊れ崩壊	2.0m

東日本大震災の津波被害の調査で、木造建物は、湧水2mで一部被害が発生し、湧水4mで全壊したという調査がある。これを参考に、津波被害で建物が崩壊した場所の一番高い海抜は2mで、津波の場所では、湧水が4mは無い。建物が崩壊したと考えられる。津波は、0.5m以下の範囲が水に浸して被害があり、また発生する。

以上のことから、今後の南海トラフ地震が発生した時、津波の被害がなく、安全な海抜は、6.1m以上とする。今回の防災マップは、海抜0.5m以下の範囲を湧水エリアとして、色分けする。

松田川は、谷川に注ぎ込んでいますが、津波が来た時に、谷川に注ぎ込んで、谷川が倒壊する危険がある。

近き避難所
一時避難所
危険な戸所
例
青生 ぐやぐや谷川

近隣の避難所	駐車場	思いやり駐車	定員	ガス電灯	自家発電	防犯無線	井戸水	建物の倒壊	海抜	避難ルート
① イーストプラザ	379台	あり	920人	○	○	○	○	○	41m	○
② 二重大学	あり	あり	1330人	○	○	○	○	○	93m	○
③ 観音寺保育園	なし	なし	90人	○	○	○	○	○	238m	○
④ 三重県総合文化センター	1400台	37台	1700人	○	○	○	○	○	222m	○

Voice

喜びの声



【チームの児童のみなさん】

素晴らしい賞がとれて嬉しくて、聞いた時はとてもびっくりしました。このマップは、地震が起こった時、パニックにならないように、自分達だけで避難ができるよう何度も地域を歩き、避難方法を考えました。マップを作って逃げることの大切さが分かりました。

【指導された北川 朋央 さん】

南海トラフ地震の発生確率が高くなってきています。そこで、地震時には子ども達だけの時もあり得るので、子ども達がどのようにしたら安全に避難できるかを考えるようにして取り組みました。この作品を通して、地域の防災力向上に繋がるようにしたいと思います。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

自分たちの住んでいるまちで起こった過去の災害歴と、東日本大震災での事例から学んだことを活かし、南海トラフ地震による津波の浸水範囲や危険地域の特定と避難場所やルートをテーマに、わかりやすく表現している。

ビジュアル性

危険な場所やまちへの提言を色分けしていることや、上り坂や下り坂などマップでは表現しにくいこともきちんと伝わる工夫がされている。また、広域図があることで、山から川、海へとつながる位置関係もわかりやすく、津波によって川が逆流する恐れがあることもポイントに写真を添えてわかりやすく伝えている。

提案性

被災した場所から一番安全な避難ルート、一番近い避難所が取りまとめられており、非常にわかりやすい。また、改善を希望する内容は青字で統一し、自治会へ提言している。

教育効果性

まち歩きを丁寧に行い、地域の被害を予測し避難する場所と避難ルートを提案し、より安全に逃げてほしいという思いが込められている。また、丹念に調べた災害歴や東日本大震災からの学びを、懸念される南海トラフ地震に置き換え、深い考察が加えられている。





ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

東京都

東京都足立区立西新井小学校 「西新井小学校 水色チーム」

学年

5年生

人数

28人

防災



Voice

喜びの声



【チームの児童のみなさん】

受賞することができて、とてもうれしいです。ぼうさい探検隊として、西新井のまちを歩き、消火器や防災倉庫など、災害に備えたものや場所が多くあることに気がきました。これから、自分の住むまちの人たちに、もっと防災について考えてもらえるように、より良い提案をしていきたいと思っています。

【指導された 檜山 勇輝 さん】

西新井小学校は、全校で防災教育に取り組んでいます。上級生の後を継いで防災マップを作成し、賞をいただくことができたことに喜びを感じています。地域とのつながりも深いので、このマップを地域の防災にも役立てていきます。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

地震発生時の建物の倒壊、火災発生や延焼の危険度が高いと評価されている地域を分析し、自分や家族の命を守ることをテーマに取り組んでいる。



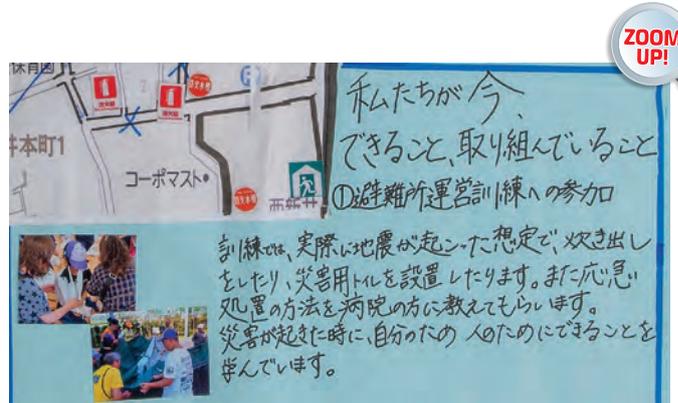
ビジュアル性

区全体の中で自分たちのまちがどこにあるかを紹介したうえで、身近に潜む建物倒壊や火災の危険性と避難・防災・減災に役立つまちなかにあるものを、それぞれジャンル別に分けて、写真も使いながらわかりやすく表現している。



提案性

まち歩きの結果から、地震が発生したら通れない可能性の高い場所をマップに盛り込んだり、消火器の設置がエリアによって偏っていることなどに気づき、区へ提言して回答をもらったことで、次のステップを明確にしている。



教育効果性

避難所運営訓練に参加したり、災害時のシミュレーションを実施したりと、今、自分たちにできることとして積極的に取り組み、対策の必要性を学んでいる。また、これらを通じ、地域の一員として何ができるかといったこともしっかり考えている。



審査員特別賞

北海道

学年

1～6年生、中学1、2年生

人数

18人

防災・防犯・交通安全

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ「川沿未来見守り隊」



評価されたポイント

地域性・テーマ性 避難所がわかる防災マップ、こども110番の家がわかる防犯マップ、交通事故の危険性がある場所がわかる交通安全マップと、普段の生活の安全を守るために注意すべきことがまとめられたマルチな安全マップになっている。

ビジュアル性 地図が大きく、絵・写真・記号・色別の吹き出しコメントがバランスよく、色使いが工夫されているため、広域な地図ながら、非常に見やすい。

提案性 水害によって崩れてしまった散歩道の補装や、街路樹などの剪定が行き届いていない歩道など、まち歩きで気づいた様々な危険箇所について管理事務所に伝えるなど、地域を良くするために改善提案を行っている。

教育効果性 自然豊かなこの地域では、草木によって自分たちの姿が思っていたより見えづらいことがわかり、交通ルールを守っていても危険な場所があることを確認した。また、マップのタイトルにあるようにお互いにゆずり合うことの大切さも学んでいる。

Voice 喜びの声

[チームの児童のみなさん]

みんなで地域をまわって、危険な所や改善してほしい所などがわかったので、地域の方達にも見ていただいて、役立ててもらえたらうれしいです。これからも人の役にたつ行動ができるように、みんなで努力していこうと思います。

[指導された 井上 昌幸 さん]

マップ作りを通して、子ども達の防災に対する意識も変化し、自助、共助、互助の気持ちを持てるようになってきたと思います。これからも感謝を忘れず、協力し合って活動していきます。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

福島県

学年

4、5年生

人数

10人

防災

西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ「こすもす探検隊」



評価されたポイント

地域性・テーマ性 東日本大震災と今年の台風19号・21号により、過去に大きな被害を受けた経験から、避難経路・避難場所の日ごろからの確認や備蓄の大切さ、災害ごみの処理問題など、自然災害の実体験を通じた学びをテーマにマップを作成している。

ビジュアル性 カラーセロハンを使うことで浸水エリアが目立つように工夫されているので、どのエリアが危険なのか、ひと目でわかるようになっている。また、災害の種類によって、初動対応や避難のタイミングなども違うため、台風・大雨による水害と地震の情報を左右で分けて表示した構成がわかりやすい。

提案性 災害時の備えの大切さを学び、備蓄することや、万が一の場合助け合うために、日頃から地域の方々とのコミュニケーションをとることを提案している。災害ごみの環境問題から、私たちにできることとして、ごみを出さない生活をする、モノを減らして生活することも大事な備えの一つとしている。

教育効果性 ライフラインの停止による生活の不便さを体験し、備蓄の重要性を学び、その一方で、災害ゴミで溢れた集積所を目の当たりにしたことで、環境問題への意識の高まりも見てとれる。

Voice 喜びの声

[チームの児童のみなさん]

先生から「入選したよ」と聞いてとてもうれしかったです。このマップが地域のみなさんのために役立って欲しいと思いました。来年もがんばります。

[指導された 藤巻 真理 さん]

このような素晴らしい賞を頂いた事により、今後の災害に立ち向かっていく力を頂いた様な気が致します。本当にありがとうございました。これからも子ども達の指導者として頑張っていきたいと思っています。

東京都

富士見キッズ「Chipika」



学年

3、4年生

人数

6人

防犯

評価されたポイント

地域性・テーマ性 ここ数年の小学生が巻き込まれる事件を踏まえ、心構えや必要な備えなどを考えたうえで、通学路周辺の環境を防犯の視点で確認しながらまち探検し、情報豊かに取りまとめている。

ビジュアル性 まち歩きをした現状の地図の上に、「こうなったらいいな」という理想の姿をオーバーレイで表示しており、改善されたまちがどんな風になるのかイメージしやすい。また、通学路の交通量調査の結果をマークシールでわかりやすく表現しているので、決まった通学路でも、どのルートを辿り通学したら安全か、ひと目でわかるように工夫されている。

提案性 パトロールカーの稼働時間の見直し、防犯カメラの増設、通学路やスクールゾーン表示の拡充という行政などで改善が必要とされるハード面と、地域の見守り強化や教科書を含む携行品の扱いなど、自治体や学校の運用改善で対応できるソフト面での提案が多数なされている。

教育効果性 不審者遭遇を設定した疑似体験をすることで、防犯ベルの取扱いや、助けを呼ぶ時の発声、荷物の扱いなど、自分の身を守るためにどんな行動をとったらよいかということをしっかり学んでいることがうかがえる。

Voice

喜びの声

[チームの児童のみなさん]

4年連続受賞とても嬉しいです。1年生から携わり、防災に関する意識も高まり日常から家族や友人と防災について話をします。これからも自分や大切な人を守る為に防災防犯への意識を高め、出来る事を実践したいです。

[指導された 平岡 三和子 さん]

素晴らしい賞を有り難うございます。仲良し6組の親子が協力しマップ作成しました。所要時間は約70時間。通学路を歩き実証、地域・専門各所訪問等、千代田区長への提案をしました。協力頂いた皆様に感謝致します。

長野県

長野県松本市 島内子ども会育成会「チーム しまうちっ子」



学年

3～6年生

人数

20人

交通安全

評価されたポイント

地域性・テーマ性 地区内の道路事情も大きく変わり、交通事故が多発するようになったことがきっかけで、交通安全にテーマを絞り、歩行者である自分たちも、もっと慎重に行動し、車の事故を少しでも減らしたいという強い想いが込められたマップになっている。

ビジュアル性 地図上の情報量を最小限にすることで、危ない道路が浮かび上がるわかりやすいマップになっている。また、最も危険と考える場所を大きく取り上げ、写真と解説を赤色画用紙を下地にして表示することで重要度が伝わりやすい。

提案性 自分たちの意見だけを一方的に伝えるのではなく、車を運転する大人にインタビューし、自分たちの交通マナーを顧みること、車と歩行者がお互いどう行動したら事故がなくなるのかを考え、具体的に提案している。

教育効果性 自分たちの気づきを地域の人に知ってもらうために、最も危険な3カ所を紙芝居にして発表会を行うなど、情報発信という手段を取り入れ、交通安全に対する意識の高まりを共有している。

Voice

喜びの声

[チームの児童のみなさん]

この島内地区は色々な所にキケンがあり、自分が気付かない所が多くありました。それをマップや紙芝居にして、みんなに広める事ができてよかったです。また、大人から見ても怖い所があると分かってよかったです。

[指導された 高島 淳子 さん]

情報満載の交通安全マップは、子ども達の手により紙芝居へと進化を遂げ、多くの仲間へ発信されました。「自分達の想いを伝える」事の大切さを子ども達が教えてくれました。チームしまうちっ子の皆、ありがとう！受賞おめでとう！



審査員特別賞

徳島県

学年

3年生

人数

23人

防災・交通安全

徳島県阿南市立津乃峰小学校「つのみね小3年生」



評価されたポイント

地域性・テーマ性 南海トラフ大地震発生想定地域で、津波の到達が早いことや交通量が多い通学路など地域特性をテーマにし、安全な場所、危険な場所を地域の人たちに知って欲しいという思いが込められたマップになっている。

ビジュアル性 小学校を中心として、危険な所と避難場所が色分けされた番号で表示され、それぞれ写真付きで詳しい説明がされているので、イメージしやすくわかりやすい。

提案性 危険な場所や、各避難所の特徴をひとつひとつ丁寧に調査し、注意して欲しいこと、気づいて欲しいことを子どもたちがそれぞれメッセージスタイルで伝えていることが説得力を与えている。

教育効果性 予告なしの避難訓練や、ぼうさいフェスタなどのイベントに参加することで、多くの学びがあったことがうかがえる。また、避難所巡りを体験し、自分たちの地域には、思いのほか避難所が多くあることがわかり、いつでもどこにいても、近くの避難所に退避できることを学んでいる。

Voice 喜びの声

[チームの児童のみなさん]

みんなで協力して、地図を完成できて嬉しかったです。危険な場所や避難場所、店などに分けて印をつけたり特徴を書いたりするのが頑張りました。津乃峰町の人たちに安全な所や危険な所を知らせていきたいです。

[指導された 八木 まどか さん]

マップ作りを通して、交通や防災を意識することで、津乃峰町のよさや危険を再確認できました。地域とのつながりを強みにし、『みんなの命はみんなで守る』を合言葉に広めていきたいです。素晴らしい賞をありがとうございました。

熊本県

学年

4年生

人数

2人

防災

『街角の、危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊 『街角の、危険なヒヤリ!ハッと!』探検隊



評価されたポイント

地域性・テーマ性 通学している小学校が避難所に指定されているが、昨今発生している台風や局所的大雨による水害を想定した時、普段安全とされている通学路は避難経路として適しているのか、別ルートを確認しておく必要があるのではないかという視点で探検し、マップを作成している。

ビジュアル性 家から学校までの通学路をわかりやすく地図上に表示し、水害時に一番心配になるマンホールの設置場所をマークシールで示したことで、設置数の多さが視界に入り注視できるようになっている。

提案性 マップづくりのプロセスや気づきが分かりやすく表現されていることで、マップを見た人への防災意識の喚起や、日頃から別ルートの避難経路を確認しておく必要性を提案している。

教育効果性 大人の指示で行動することが多かった昨年までと違い、自分たちの判断で行動できるようにまち探検を通じて成長したことがうかがえる。日頃通いなれた通学路が、緊急時にどのように変化するかを想像し、対処方法をしっかり考え、取り組んだことが伝わってくる。

Voice 喜びの声

[チームの児童のみなさん]

今まで安全と思っていた通学路が注意する所を探してみると危険がたくさん分かりました。他の作品を見て災害の知識を深めて、調べたことをもとにみんなと災害の時どうしたら良いかを話したいです。次回も頑張ります。

[指導された 榊 美紀 さん]

子ども達の頑張りが実を結んだ事で、喜び、次の年も!と意欲を湧かせています。他の受賞作品から刺激を得て研究することで、更に防災の知識を深めて実生活にもマップ作りにも役立てて欲しいです。本当に有難うございました。

沖縄県

とみぐすく

豊見城市なないろ児童クラブ2 「ウォーターZグループ」

学年

3、4年生

人数

7人

防災



評価されたポイント

地域性・テーマ性 自分たちの住む地域が「住み、働き、そして遊び集う街」というまちづくりのコンセプトで埋め立てられ、作られたまちであるため、海拔の低さを踏まえ、津波災害にテーマをしばりマップを作成している。

ビジュアル性 新聞紙や色紙を使って、貼り絵で津波災害警戒区域を表現した力作。また、津波避難ビルの写真と併せて何階建てかを示しており、情報を簡潔に伝えられている。

提案性 大きく4つに表現されたキャッチコピーが避難時の心得として強く印象に残り、マップを通して伝えたいこととして明確な表現になっている。

教育効果性 備蓄倉庫のインタビューなどから、津波の怖さと、避難経路の事前確認や備蓄の必要性を学び、防災意識が高まったことがうかがえる。

Voice
喜びの声

[チームの児童のみなさん]

審査員特別賞に選ばれてとても嬉しいです。私達は、みんなが安全に避難する為に、誰が見ても分かりやすくまとめる工夫をしました。このマップが防災に対する意識を高め、全ての人々の命を守る役に立てたら嬉しいです。

[指導された 金城 有希 さん]

探検の際には地域の方々の御協力の中、子ども達は多くの情報を学ぶ事が出来ました。それらを1つでも多く伝えられるマップ作りを心掛け意見を出し合い工夫を重ねて仕上げていきました。子ども達の頑張りを受賞につながった事を嬉しく思います。

沖縄県

豊崎学童クラブ 「とよさきこうえんまもりたい」

学年

1、2年生

人数

7人

防犯・交通安全



評価されたポイント

地域性・テーマ性 地区内にある大好きな4つの公園の「安全なところ」「気になるところ」を調べ、防犯と交通安全の視点でまとめあげた作品。

ビジュアル性 公園までのルートで危険な交差点を地図上にわかりやすく表記している。また、公園の安全なところ、気になるところなど特色をまとめ、困ったことが起こった時のため、子ども110番やAEDが設置されている場所がひと目でわかるように表現されている。

提案性 公園の行き帰りで事故に遭いそうな交差点を歩車分離型にすることや、誘拐などの危険性や防止・抑止方法をわかりやすく提案している一方、「ルールを守って遊ぶので公園内でボールを使わせて欲しい」といった、子どもらしく微笑ましい要望も盛り込まれている。

教育効果性 小学校低学年(1、2年生)のみで取組んだ中、身近な危険についてしっかりと学ぶことができています。また、自治会長や公園の管理者の方などへのインタビューを通じて、「自分たちは地域の方から見守られている」ということに改めて気づき、感謝の念を抱いていることも伝わってくる。

Voice
喜びの声

[チームの児童のみなさん]

みんなで力を合わせて作ったマップが審査員特別賞に選ばれてとても嬉しいです。マップ作りでは公園をまわって調べたり、いろいろな方にインタビューすることができて楽しかったです。また、来年もチャレンジしたいです。

[指導された 當銘 祐恵 さん]

初めての参加で、何から取り組めば良いのか悩みました。グループのメンバー全員「公園で遊ぶこと」が大好きなのでこのテーマにしました。マップ作りを通して、ルールを守って安全に遊ぶことの大切さ。地域の大人やたくさんの人に守られている事に気づく事ができました。取材に協力下さった皆様ありがとうございました。

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	21	83	409	ごりょうかく探検隊/北海道札幌市立白石小学校/北海道苫小牧市立苫小牧西小学校/ 北海道士別市立上土別小学校/北海道野付郡別海町立上春別小学校/北海道札幌南区川沿少年消防クラブ/ 西13号町内会/北海道札幌市立幌北小学校/豊里少年少女消防クラブ/北海道札幌市立二条小学校/ 北海道根室市立成央小学校/北海道奥尻町立青苗小学校/由仁町青少年育成協議会/ 上富良野町少年消防クラブ/探検チームS/東相内ひしょっ子探検隊/北海道厚岸町立厚岸小学校/ チームTYS/西桔梗ぼうえい隊/札幌市豊平区月寒少年消防クラブ/北海道標津町立川北小学校
青森	12	42	336	青森県八戸市立町畑小学校/青森県八戸市立城下小学校/社会福祉法人幸成会 幸成児童館/ 弘前市指定管理 社会福祉法人真会 岩木児童センター/小沢キッズ/青森県五所川原市立金木小学校/ 青森県野辺地町立若葉小学校/青森県青森市立浦町小学校/青森県八戸市立八戸小学校/ 青森県弘前市立城西小学校/青森県八戸市立白銀小学校/青森県八戸市立根城小学校
岩手	8	15	121	岩手県紫波町立水分小学校/岩手県矢巾町立徳田小学校 間野々子供会/岩手県紫波町立星山小学校/ 岩手県一関市立猿沢小学校/紫波町立日詰こどもの家/中里放課後子ども教室/ 岩手県盛岡市南仙北二・三丁目町内会 子ども会/岩手県盛岡市立厨川小学校 境田一区子供会
宮城	17	77	951	宮城県岩沼市立玉浦小学校/仙台市大野田児童館/宮城県仙台市立金剛沢小学校/ 宮城県登米市立西郷小学校/FIVEブルーベリー/宮城県大崎市鹿島台安全で快適委員会/ 宮城県多賀城市立多賀城東小学校/中山おやじの会/仙台市東四郎丸児童館 東四かにつこ放課後子ども教室/ 宮城県仙台市立高砂小学校/宮城県仙台市立高森東小学校/宮城県仙台市立根白石小学校/ 防犯巡視員 歩く110番“友の会”(宮城県仙台市立上野山小学校)/宮城県南三陸町立名足小学校/ 宮城県石巻市立寄磯小学校/宮城県石巻市立前谷地小学校/宮城県石巻市立北村小学校
秋田	4	12	19	にいたんけんたい/加瀬家/日景町こども会/秋田県仙北市立白岩小学校
山形	9	15	59	蒲沢地区/にこにこたんけんたい/日新サッカースポーツ少年団/チーム 國分/ 山形県酒田市立広野小学校/新海町子供探検隊/芳野キッズ/ 千歳スポーツ少年団バレーボール部男子/嶋北子ども育成会
福島	9	17	151	郡山市消防団女性班/福島県白河市立白河第五小学校/福島県相馬市立飯豊小学校/ 喜久田地区隊ジュニア/福島県福島市立福島第四小学校/相馬市川原町児童センター/ 西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ/ 相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ/御山地域探検隊
茨城	9	60	390	茨城県つくばみらい市立富士見ヶ丘小学校/NBアリーナ グローイング/Kids Creation Afterschool/ 茨城県牛久市立牛久小学校/茨城県水戸市立大場小学校/茨城県つくばみらい市立富士見ヶ丘小学校/ 長堀小学校にわやまグループ/荒小探検隊まりありチーム/レンジャー探検隊
栃木	6	8	64	栃木県栃木市立赤麻小学校/栃木県真岡市 大田山地区 スカイ町会 育成会/ 栃木県真岡市 大田山地区 上原町会 育成会/日本ボーイスカウト栃木県連盟 鹿沼第4団 カブ隊/ さくらなかよしたんけんたい/菊沢きずなプロジェクト
群馬	13	24	114	群馬県高崎市立金古小学校/ガールスカウト群馬県 第60団/群馬県甘楽郡南牧村立南牧小学校/ 群馬県高崎市立六郷小学校 ぼうさい探検隊/群馬県前橋市立荒牧小学校/ ガールスカウト群馬県連盟第76団/F C 笠懸84/みやがわ探検隊/渋川市上白井地区上組子供会/ 群馬県渋川市立渋川南小学校/上新田防災班/なかよしきょうたい/古池家探検隊
埼玉	16	102	573	深井探検隊/狭山市立広瀬児童館/埼玉県坂戸市立片柳小学校/ボーイスカウトさいたま104団カブ隊/ 埼玉県幸手市立行幸小学校/埼玉県伊奈町立小針北小学校/川口市立 芝児童センター/ 川口市立 戸塚児童センター あすばる/埼玉県入間郡 越生町立梅園小学校/ 埼玉県八潮市立大瀬小学校/春日部市中央公民館/埼玉県桶川市上日出谷子ども育成会/北本探検隊/ 埼玉県川口市立仲町小学校/ギニアこころのクリニックとおむすびの会/埼玉県熊谷市立成田小学校
千葉	25	276	1447	千葉県茂原市立中の島小学校/千葉県市原市立国分寺山西小学校/千葉県市原市立青葉台小学校/ 千葉県市原市立有秋南小学校/特定非営利活動法人 光と風/千葉県市川市立大洲小学校/ 千葉県千葉市立幕張小学校/千葉県富津市立金谷小学校/千葉県旭市立干潟小学校/ 千葉県浦安市立北部小学校/千葉県印西市立大森小学校/ハッピーガールズ/千葉県茂原市立西小学校/ 千葉県睦沢町立睦沢小学校/千葉県松戸市立東部小学校/千葉県香取市立小見川中央小学校/ 千葉県東金市立福岡小学校/千葉県八千代市立村上東小学校/千葉県いすみ市立大原小学校/ 千葉県松戸市立松ヶ丘小学校/千葉県八千代市立村上小学校/千葉県市川市立宮田小学校/ 千葉県柏市立柏の葉小学校/千葉県市原市立寺谷小学校/千葉県山武郡横芝光町立東陽小学校
東京	42	416	2228	東京都日野市立日野第六小学校/東京都練馬区立大泉桜学園/東京都多摩市立瓜生小学校/ 東京都江戸川区立第四葛西小学校/東京都小平市立小平第十三小学校/東京都葛飾区立東水元小学校/ 向島消防少年団/東京都東村山市立北山小学校/東京都豊島区立長崎小学校/

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
東京	42	416	2228	東京都足立区立千寿双葉小学校／臨港消防少年団／東京都千代田区立和泉小学校／東京都大田区立洗足池小学校／東京都江戸川区立第六葛西小学校／日野消防少年団／富士見キッズ／東京都目黒区立碑小学校／東京都武蔵村山市立第二小学校／東京都府中市立府中第二小学校／KK姉妹／東京都新宿区立戸塚第二小学校／台東区立千束児童館／東京都目黒区平町児童館／東京都江戸川区立西小岩小学校／羽村市青少年対策富士見地区委員会／東京都足立区立伊興小学校 PTA・開かれた学校づくり協議会／東京都大田区立池上小学校／東京都江戸川区立新堀小学校／東京都江戸川区立鎌田小学校／北砂探検隊／港区立赤坂子ども中高生プラザ／高井戸小学校ファミリー会／地域を知り隊／東京都足立区立西新井小学校／港区立港南子ども中高生プラザ／福生市立福生第7小学校 PTAおやじの会／布田 6丁目探検隊／東京都八王子市立清水小学校／中央区勝どき児童館／東京都杉並区立久我山小学校／東京都三鷹市立第三小学校／東京都八王子市立柵田小学校
神奈川	33	95	640	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ／神奈川県相模原市立串川小学校 3年生／神奈川県横浜市立港南台第二小学校／公益財団法人かわさき市民活動センター 三田こども文化センター／神奈川県川崎市立百合丘小学校／神奈川県横浜市立駒林小学校／神奈川県横浜市立汐見台小学校／神奈川県茅ヶ崎市香川第2児童クラブ(みずたまクラブ)／神奈川県茅ヶ崎市立公民館／青鬼ジャパン／あおば探検隊／ほのたく／公益財団法人かわさき市民活動センター 平こども文化センター／小杉小学校わくわくプラザ／神奈川県座間市立立野台小学校／麻生こども文化センター／下倉田っ子探検隊／下平間こども文化センター／長野家／渡田こども文化センター／日本ボーイスカウト 神奈川連盟 海老名第2団 カブ隊／公益財団法人かわさき市民活動センター 野川こども文化センター／ガールスカウト神奈川県第53団／キッズ大集／南菅こども文化センター／王禅寺こども文化センター／東柿生小学校わくわくプラザ／王禅寺中央小学校わくわくプラザ／川崎市榊形こども文化センター／チーム IFC／チーム長後／チーム山形／チーム踊場
新潟	6	45	274	塩沢金城わかば児童館／新潟県上越市立東本町小学校／新潟県糸魚川市立 糸魚川東小学校／新潟県新潟大学教育学部附属長岡小学校／新潟県南魚沼市立おおまき小学校／team矢吹
富山	5	13	88	富山県立山町立釜ヶ淵小学校／よつばキッズ／呉羽探検隊／富山県滑川市立北加積小学校防災探検隊／探検兄弟
石川	51	76	556	石川県小松市立安宅小学校／石川県加賀市立庄小学校／にこにこクラブ／えんこうじ探検隊／泉旭町1丁目町会／野町子ども連合会／山島台2丁目子供会／新碓町地区人とまちづくりの会／石川県珠洲市立大谷小中学校／金沢市菊川町公民館／かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会／かほく市子ども会 高松支部 夏栗子子ども会／かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 中沼子ども会／かほく市子ども会 高松支部 南新町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 双葉子ども会／かほく市子ども会 高松支部 学園台子ども会／かほく市子ども会 高松支部 桜井町・下伊丹町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 ニツ屋子ども会／かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 元町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 旭町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 古宮町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 長柄町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 六軒町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 東町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 大海東部子ども会／かほく市子ども会 高松支部 流川町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 三北子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 木津よつば子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 浜北はまなす子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 白尾青空子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 白尾白百合子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 秋浜若草子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 遠塚ひばり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 松浜みどり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 指江子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 七窪子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 大崎子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇気子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 旭町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 向野子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 曙町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 本町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 中町子ども会／石川県金沢市社会福祉法人陽風園
福井	8	28	170	福井県坂井市立鳴鹿小学校／福井県あわら市本荘小学校／福井県鯖江市平井町子供会／福井県鯖江市河和田公民館／「防災士 ネットワーク さばえ」／福井県吉田郡永平寺町志比北小学校／福井県坂井市立三国西小学校／福井県坂井市立東十郷小学校
山梨	4	44	229	山梨県中央市立田富中央児童館放課後児童クラブ／山梨県市川三郷町立上野小学校／山梨県市川三郷町立六郷小学校／和泉クラブ

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
長野	10	30	197	長野県諏訪市立四賀小学校／安曇野防犯協会連合会／長野県松本市 島内子ども会育成会／旭町少年探検隊／いなりやま防災探検隊／長野県下伊那郡阿南町立富草小学校／古牧探検隊／長野県 阿南町立大下条小学校／しま探検隊／喬木村防災たんけんたい
岐阜	4	27	214	岐阜県山県市高富児童館／岐阜県岐阜市立網代小学校／日野守る隊／岐阜県可児市立広見小学校
静岡	9	70	390	ボーイスカウト浜松第19団／ガールスカウト静岡県第24団／特定非営利活動法人日本沼津災害救援ボランティアの会／静岡県焼津市立焼津西小学校／ガールスカウト静岡県第34団／静岡県静岡市立清水飯田小学校／静岡市 草薙児童館／厚原北区1丁目子ども会／静岡県静岡市立中島小学校
愛知	22	101	665	愛知県岩倉市立岩倉南小学校／愛知県豊田市立足助小学校／しょうぶ池子ども会／桜井町探検隊／宇福寺児童館／正木 KIDS FIRE GUARD／はこぶね学童保育／愛知県刈谷市立衣浦小学校／愛知県豊橋市立新川小学校／鷺見 sister's／愛知県名古屋市立笠東小学校／日本ボーイスカウト愛知連盟大治第一団 カブ隊／中野校区みんなのハザードマップ／愛知県刈谷市立住吉小学校／愛知県西尾市立中畑小学校 4年生／児玉学区子ども会／春日井市立 春日井小学校 黒鉾会／岩戸町会／高峯キッズ／上長山たんけん隊／愛知県北名古屋市長師勝北小学校4年生／なごや北ぼうさい探検隊
三重	14	49	298	かもっこ放課後子ども教室／あらっこ放課後子ども教室／三重県志摩市立浜島小学校／明倫地区まちづくり協議会／三重県四日市市立八郷西小学校／放課後児童クラブ たつの子会／松阪五月キッズ／三重県伊勢市立宮山小学校／羽津地区まちづくり推進協議会／はづっ子カウボーイ／鳥羽市安楽島子ども会／三重県四日市市立八郷小学校／有緝キッズ／北川ブラザーズ
滋賀	8	31	367	滋賀県大津市立石山小学校／立入が丘児童クラブ／滋賀県 甲賀市立 甲南第三小学校／認定NPO法人くさつ未来プロジェクト／野洲市社会福祉協議会 三上第1第2学童保育所／滋賀県彦根市立城西小学校3年生／のびっ子笠縫東／のびっ子渋川
京都	7	32	175	京都市伏見ジュニア消防団住吉班／静海市原町西D／京都府向日市立第3向陽小学校／京都市葵児童館学童クラブ3～5年生・京都府立洛北高校生徒会／京都朱六キッズ／京都府京都市立西京極小学校／八瀬ネイチャーキッズ
大阪	14	119	818	大阪府大阪市立晴明丘南小学校／大阪府堺市立原山ひかり小学校／大阪府大阪市立城北小学校／深井を守るう探検隊／ガールスカウト大阪府第21団／日根野防衛隊／大阪府豊中市立西丘小学校／枚方パンダ子ども会／大阪府豊中市立新田小学校／大阪府大阪市立三軒家東小学校／大阪府大阪市立東粉浜小学校／西山本探検隊／大阪府豊中市立豊島小学校／大阪府大阪市立 堀江小学校
兵庫	13	49	218	兵庫県明石市立鳥羽小学校／Hi兄弟／潮見台町探検隊／KONAN BOYS／兵庫県明石市立大観小学校／宝塚市立安倉児童館／まちのたんけんチーム／有野台児童館／中戸探検隊／兵庫県洲本市立由良小学校／兵庫県三木市立口吉川小学校／北五葉サッカークラブ／伊丹あっちゃんさがし隊
奈良	10	20	165	日本ボーイスカウト奈良県連盟橿原第1団 カブ隊／奈良県奈良市立済美南小学校／生駒市子ども会育成連絡協議会ジュニアリーダー研修生／六条たんけん／ガールスカウト奈良県第22団／ガールスカウト奈良県第21団／奈良県河合町立河合第三小学校(自転車クラブ)／秋篠少年団／田原本探検団／奈良県五條市立牧野小学校
和歌山	10	28	185	和歌山県有田郡 有田川町立田殿小学校／NPO法人 和歌山野球振興協会・夢クラブ 保田学童保育／NPO法人 和歌山野球振興協会・夢クラブ 宮原学童保育／NPO法人 和歌山野球振興協会・夢クラブ 箕島学童保育／NPO法人 和歌山野球振興協会・夢クラブ 糸我学童保育／和歌山県和歌山市立福島小学校／和歌山県新宮市立三輪崎小学校／和歌山県有田郡広川町立広小学校／稲村の火／野田 子ども会
鳥取	5	5	109	鳥取県倉吉市立成徳小学校／鳥取県倉吉市立高城小学校／ブルードアキッズ／大杓キッズ／鳥取県倉吉市立河北小学校
島根	5	6	35	石西防災研究所上市ぼうさい探検隊／地域自主組織 新市いきいき会／アメンカ探検隊／島根県松江市くもづっ子クラブ／チームザリガニーズ
岡山	8	18	80	YMCAせとうち／福江防災探検隊／岡山県備前市立伊里小学校／岡山県総社市立維新小学校／緑丘児童クラブ／岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム／味野地区小地域ケア会議／岡山県岡山市立福田小学校 1年生有志
広島	9	24	245	広島県呉市立安登小学校／府中町少年少女消防クラブ／広島県竹原市立東野小学校／広島県福山市：新涯沖町内会／広島県呉市立波多見小学校／てるたんけんたい／立花探検隊／戸手小学校あおぞら子ども会／広島県呉市立昭和北小学校
山口	7	24	123	山口県下関市立向井小学校／山口県周南市立湯野小学校／山口県下関市立王司小学校 おやじの会／リンクキッズ／山口県周南市立高水小学校／チーム西／山口県宇部市立新川小学校 新川ガールズたんけん隊

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
徳島	10	34	198	徳島県三好市立馬路小学校／徳島県阿南市福井児童クラブ／桑野児童クラブ／徳島県鳴門市撫養小学校／徳島県小松島市立江小学校／徳島県徳島市応神小学校／ 徳島県阿南市立津乃峰小学校 ／徳島県阿波市立市場小学校／徳島県板野郡上板町松島地区ぼうさい探検隊影山3兄弟／徳島市助任地区なかよし組
香川	10	61	607	香川県高松市立川東小学校／ 香川県坂出市立東部小学校 ／ 香川県三豊市仁尾町児童館 ／香川県坂出市立川津小学校／香川県丸亀市立飯山北小学校／香川県高松市立十河小学校／高松市立花園小学校 上福岡自治子供会／香川県高松市立中央小学校／香川県高松市立多肥小学校 畑自治会／香川県高松市立檀紙小学校
愛媛	8	34	196	愛媛県宇和島市立遊子小学校／愛媛県伊予市立南山崎小学校／愛媛県松山市立正岡小学校／ 愛媛県愛南町立家串小学校 ／愛媛県今治市立吹揚小学校／みさけ探検隊／ 愛媛県宇和島市立三浦小学校 ／ 愛媛県愛南町立城辺小学校
高知	9	25	151	高知県高岡郡四万十町立興津小学校／ 高知県長岡郡本山町立本山小学校 ／旭地区防災食プロジェクト／ 高知県本山町立吉野小学校 ／高知県高知市立潮江南小学校／児童養護施設 子供の家／南海少年寮／高知県立高知若草特別支援学校小学部／高知県南国市立後免野田小学校
福岡	14	47	399	北九州市立横代児童館／福岡県柳川市立東宮永小学校／福岡県大牟田市立羽山台小学校／福岡県福岡市立月隈小学校／ 福岡県北九州市立小石小学校 ／和白っ子／筑後川防災施設くめウス／福岡県飯塚市立鯉田小学校／北九州西防災／おおのじょう少年消防クラブ／もとおか探検隊／みなみ探検隊／福岡県久留米市立江上小学校／みやじ探検隊
佐賀	3	5	25	横田たんけん隊 ／唐津市和多田消防団と外町小学校の子どもたち／佐賀県唐津市立簗木小学校
長崎	5	12	171	長崎県西海市立江島小学校／長崎県長崎市立池島小中学校／ 長崎県長崎市立為石小学校 ／島原市児童館／長崎県長崎市立戸町小学校 戸町学童保育たけのこクラブ
熊本	7	36	313	熊本県熊本市立力合西小学校 PTA／剣道大好きっ子探検隊／『街角の、危険なヒヤリ！ハッと！』探検隊／熊本県八代市立代陽小学校 本町三丁目子ども会／託麻南校区第2町会子ども会／熊本県益城町立広安小学校／熊本県上益城郡益城町立広安西小学校
大分	4	9	100	吉野児童育成クラブ／大分県 大分市立 宗方小学校おやじの会／春日町探検隊／ ボラリス児童クラブ
宮崎	12	23	216	宮崎県高原町立広原小学校／今町ぼうさいキッズ／ 清武キッズ探検隊 ／宮崎県宮崎市立木花小学校／宮崎県延岡市立北浦小学校／社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご WEC児童クラブ／宮崎県日向市立東郷学園やまざくらチーム／宮崎県えびの市立加久藤小学校 3年／吾田ぼうさい KIDZ／ 社会福祉法人愛育福祉会 こぼと児童館・児童クラブ ／宮崎南小学校少年消防クラブ／富田ぼうさい探検隊
鹿児島	9	32	203	鹿児島県大和村立名音小学校／ 鹿児島県大和村立大棚小学校 ／鹿児島県霧島市立富隈小学校／鹿児島県南種子町立大川小学校／鹿児島県鹿児島市立皆与志小学校／鹿児島県鹿児島市立原良小学校／鹿児島県鹿児島市立伊敷台小学校／原良小校区あいご会連絡協議会／こうすけキッズたんけんたい
沖縄	50	142	810	沖縄県 浦添市立 宮城ヶ原児童センター ／ 一般社団法人まちづくりうらそえ 浦添市立宮城っ子児童センター ／沖縄県多良間村立多良間小学校／沖縄県南城市立大里南小学校／沖縄県那覇市立城東小学校／浦添市立経塚児童センター／壺屋児童館／いしかわ児童館 学童クラブ／北中城村仲順児童館／ 沖縄県 那覇市 若狭児童館 ／ゆたか防災キッズ／ 沖縄県南大東村立南大東小学校 ／浦添市立浦城っ子児童センター／ 沖縄県豊見城市豊崎児童クラブ ／那覇市久場川児童館／なないろ児童クラブ／沖縄県石垣市伊野田ゆいまーる学童クラブ／沖縄県立八重山特別支援学校／にしぎき学童クラブ／沖縄県浦添市立森の子児童センター／ひばり放課後児童クラブ／シビックセンター学童クラブ／社会福祉法人 夢福祉会 長田児童クラブ／ 志茂田児童クラブ ／沖縄県いづみ児童クラブ／南風原町立兼城児童館／ 浦添市立 内間児童センター ／社会福祉法人三河福祉会 すてら学童クラブ／沖縄県浦添市立うらそえぐすく児童センター／安里カズズ／なはっ子チーム／ 豊見城市なないろ児童クラブ2 ／沖縄県石垣市立大浜小学校一分会／沖縄県 宮古島市 佐和田児童館／わかめ児童クラブ／社会福祉法人ちくば福祉会ちくば学童クラブ／ 沖縄県那覇市立古蔵小学校 ／竹富町上原地区上原子供会／ 子供の世界学童クラブ ／愛学童クラブ／特定非営利活動法人ちゅらネット がくどうクラブちゅらハウス／学童クラブアフタースクール サンハート／つばみ学童クラブ／ 北山学童 ／さくら児童クラブ／ 豊崎学童クラブ ／沖縄市古謝地区子ども会／沖縄県石垣市立大浜小学校／北谷町宮城児童館／南っ子

・小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第11回～第15回まで)

※「 」内はチーム名です。

参加団体数 マップ数・児童数	第11回(2014年度) 511団体(235校・276団体) 2,267作品 17,187名	第12回(2015年度) 588団体(244校・344団体) 2,506作品 16,833名
文部科学大臣賞	札幌南区川沿少年消防クラブ 「南区川沿大雨みまもりたい」 (5、6年生/北海道)	愛南町立東海小学校 「海っ子セーブ隊」 (5、6年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (2、3年生/福島県)	入山防災を学ぼうクラブ 「ひまわり探検隊」 (2、3、5、6年生/和歌山県)
消防庁長官賞	愛南町立福浦小学校 「風の子ダイヤモンド」 (3、4年生/愛媛県)	本山町立吉野小学校 「吉野チーム」 (5、6年生/高知県)
まちのぼうさいキッズ賞	糸満市立糸満がじゅまる児童センター 「イチマンがじゅまるチーム」 (1、2、5年生/沖縄県)	下関市立豊浦小学校 「下関維新探検隊」 (1、2、6年生/山口県)
気象庁長官賞	鹿嶋市立平井小学校 「平井っ子 防災探検隊」 (6年生/茨城県)	豊平区月寒少年消防クラブ 「三代目月寒ぼうさい探検隊」 (1、2、4、6年生、中1/北海道)
キッズリスクアドバイザー賞	ガールスカウト千葉県第3団 ジュニア部門 「西船 KIDS」 (4年生/千葉県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会 「狩鹿野子ども会」 (3～6年生/石川県)
未来へのまちづくり賞	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)	愛南町立中浦小学校 「中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム」 (4～6年生/愛媛県)
わがまち再発見賞	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA53」 (2、4、5年生/神奈川県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1、3、4、6年生/香川県)
ぼうさい探検隊賞	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会(青葉・青空) 「内日角守り隊」 (6年生/石川県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (2、3年生/福島県)
審査員特別賞	豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊」 (1、3、5、6年生/北海道)	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」 (1、3、5、6年生/神奈川県)
	清水有度 少年教室 「ひまわり探検隊」 (4、5、6年生/静岡県)	かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会 「岸川町子供会」 (5、6年生/石川県)
	小浜市立口名田小学校 「口名田小学校4年生」 (4年生/福井県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2～6年生/三重県)
	野洲市社会福祉協議会 北野学童保育所 「北野っ子」 (6年生/滋賀県)	船越なかよし安全たい 「船越なかよし安全たい」 (1、3年生/島根県)
	高島市マキノ町区子供会 「区子供会」 (2、4、5年生/滋賀県)	緑丘児童クラブ 「SUMMER探検隊」 (5、6年生/岡山県)
	橋本市立応其小学校 「いのちをまもる」 (6年生/和歌山県)	宇和島市立蔭淵小学校 「高齢者守り隊」 (5、6年生/愛媛県)
	府中町少年少女消防クラブ 「府中町 女子チーム」 (3～5年生/広島県)	座安小見回り探検隊 「座安っこ見回り探検隊」 (1、3～5年生/沖縄県)
	愛南町立緑小学校 「ぼうさいグリーン隊 Cチーム」 (5、6年生/愛媛県)	豊見城市役所前児童クラブ 「琉球 Boys」 (5年生/沖縄県)

第13回(2016年度) 526団体(235校・291団体) 2,871作品 19,158名	第14回(2017年度) 538団体(218校・320団体) 2,582作品 16,370名	第15回(2018年度) 566団体(271校・295団体) 2,865作品 17,983名
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)	坂井市立平章小学校 「平章小学校5年お城チーム」 (5年生/福井県)	南宇和郡愛南町立家串小学校 「家串ドリームチーム」 (5、6年生/愛媛県)
愛南町立中浦小学校 「中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム」 (3、5、6年生/愛媛県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生、中2/香川県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (3年生/福島県)
本田消防少年団 「本田消防少年団」 (1～6年生/東京都)	札幌市豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊 New Generation」 (2～4、6年生/北海道)	本山町立吉野小学校 「寺家チーム」 (5、6年生/高知県)
愛南町立家串小学校 「家串スターズ」 (3、4年生/愛媛県)	富士見キッズ 「チーム4年」 (4年生/東京都)	ガールスカウト奈良県第22団 「ジュニア部門「メジロパトロール」」 (4～6年生/奈良県)
かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 「内高松子ども会」 (6年生/石川県)	亀崎学区少年消防クラブ 「亀っ子防災探検隊」 (1、3～5年生/広島県)	富士見キッズ 「Chipika」 (2、3年生/東京都)
富士見キッズ 「青緑チーム」 (3年生/東京都)	学童保育ひまわりクラブ 「ひまっしー隊」 (1、2、4、5年生/静岡県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生/香川県)
糸満市立糸満南小学校 「糸満南っ子ちゅらさん探検隊」 (4、5年生、年中/沖縄県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」 (3～5年生/福島県)	那覇市立城東小学校 「ちゅらっこ城東」 (6年生/沖縄県)
札幌南区川沿少年消防クラブ 「みなみっくマ調査隊」 (2～6年生/北海道)	愛南町立家串小学校 「家串カルテット」 (3年生/愛媛県)	愛南町立東海小学校 「東海9」 (2、4～6年生/愛媛県)
亀崎学区少年消防クラブ 「亀崎学区少年消防クラブ」 (3～6年生、年長/広島県)	一関市中里放課後子ども教室 「中里青ぼうし安全探検隊」 (5年生/岩手県)	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」 (3、5年生/茨城県)
相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿ジュニア山岳隊」 (1～6年生/北海道)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」 (1～6年生、中学生/北海道)
ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」 (1～4、6年生/神奈川県)	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	矢巾町立徳田小学校北郡山子ども会 「北郡山子ども会 1班」 (1～4年生/岩手県)
かほく市子ども会宇ノ気支部 指江子ども会 「指江子ども会」 (6年生/石川県)	鹿嶋市立平井小学校 「平井っ子防災クラブ SP」 (4、6年生/茨城県)	新潟市立白山小学校 「白山安全まもり隊」 (3、5年生/新潟県)
堺市立東深井小学校 放課後ルーム 「東深井 sister's」 (4～6年生/大阪府)	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」 (2、3、5年生、年長/神奈川県)	横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」 (5年生/神奈川県)
かつらぎ町立丁ノ町児童館 「かつらぎ防災ガールズ」 (6年生/和歌山県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)	加賀市立金明小学校 「金明安全・安心守り隊」 (4年生/石川県)
串本町立古座小学校 「中湊なかよしたんけんたい」 (4年生/和歌山県)	愛南町立東海小学校 「東海14」 (1、3～6年生/愛媛県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「内日角キッズポリス」 (6年生/石川県)
三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～4年生、中1/香川県)	浦添市立 宮城っ子児童センター 「みやぎっこパトロールたい」 (1～3年生、年長/沖縄県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1、3～6年生、年中、年長/三重県)
愛南町立城辺小学校 「城の辺守り隊7」 (5年生/愛媛県)	糸満市立 糸満南小学校・糸満南幼稚園 「糸満南っ子ちゅらさん探検隊」 (4～6年生、年長/沖縄県)	京都市葵児童館学童クラブ3～6年生・京都府立洛北高校生徒会 「葵児童館安全探検隊」 (3～6年生、高校生/京都府)

これまでの16年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体（16回のうち10回以上のご参加）は以下のとおりです。

応募回数	学校・団体名
16回連続	愛知県豊田市立足助小学校
15回	福島県相馬市川原町児童センター／東京都江戸川区立西小岩小学校／鳥羽市安楽島子ども会
14回	岩手県盛岡市南仙北二・三丁目町内会 子ども会／ガールスカウト大阪府第21団
13回	東京都江戸川区立第六葛西小学校／東京都大田区立洗足池小学校／ガールスカウト神奈川県第53団／ガールスカウト静岡県第34団／府中町少年少女消防クラブ／高知県高岡郡四万十町立興津小学校
12回	麴町小学校 ワーク・わく・クラブ／正木 KIDS FIRE GUARD ／社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご WEC 児童クラブ
11回	ボーイスカウト山梨連盟 富士吉田第一団 ビーバー隊／岩手県紫波町立水分小学校／日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第4団 カブ隊／神奈川県横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会 岩井町原地区／かもっこ放課後子ども教室
10回	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ／東京都足立区立伊興小学校 PTA・開かれた学校づくり協議会／埼玉県上尾市立上平北小学校／神奈川県厚木市立森の里公民館（地域子ども教室）／安曇野防犯協会連合会／静岡県静岡市立清水興津小学校／橘 KIDS FIRE GUARD ／兵庫県三木市立口吉川小学校／愛媛県愛南町立東海小学校／長崎県南島原市立深江小学校／鹿児島県出水市立高尾野小学校／沖縄県石垣市立大浜小学校／那覇市久場川児童館

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。

一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	さくら損害保険株式会社	日本地震再保険株式会社
アイペット損害保険株式会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社	日立キャピタル損害保険株式会社
アクサ損害保険株式会社	セコム損害保険株式会社	ペット&ファミリー損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	ソニー損害保険株式会社	三井ダイレクト損害保険株式会社
A I G 損害保険株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	明治安田損害保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社	大同火災海上保険株式会社	楽天損害保険株式会社
S B I 損害保険株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	レスキュー損害保険株式会社
a u 損害保険株式会社	トーア再保険株式会社	
共栄火災海上保険株式会社	日新火災海上保険株式会社	2020年3月現在（会員会社28社 50音順）

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <https://www.sonpo.or.jp/>
 業務企画部 啓発・教育グループ TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236